

ふ れ あ い

地区委員会だより
第53号

青少年育成葛西地区委員会

みなさんの参加でたくさんの行事が行われました



夏休み工作教室
主 席 青少年育成葛西地区委員会

夏休み 工作教室

恒例となった夏休み工作教室が、長島桑川コミュニティ会館で行われました。季節は夏真っ盛り。夏祭りやキャンプ、花火大会などが各地で開催されます。今年の参加者は例年になく多く、開始時間の午前10時には90名の参加者が集結、会場内は元気な子どもたちで熱気にあふれていました。各テーブルには青少年部の委員が一名ずつサポーター役としてスタンバイ、いよいよ工作教室のスタートです。



(青少年部) 8月11日(日)
長島桑川コミュニティ会館

今年の作品は、「手作り風鈴」と「手作りヨーヨー」です。いずれも、ペットボトル本体とキャップを利用して作る作品です。参加した子どもたちは、カッターナイフやはさみなどに戸惑いながらも、個性豊かな作品を親子兄弟共同で完成させていました。親子兄弟のコミュニケーションを促進させた瞬間です。

また、時間内に早く終わった子どもたちは、テーマ作品とは別に用意された、洗濯ばさみと割りばしで作るゴム鉄砲やオリジナルスタンプを作って、時間一杯元気に遊んでいました。最後は子どもたちがそれぞれ作った作品を持って、「ハイチーズ」。家族による記念撮影で大盛り上がりでした。お片づけを終えた各テーブルでは、サポーター役の委員とハイタッチをするシーンが見られるなど、参加した親子兄弟の笑顔がとても印象的でした。

残り少ない夏休み。今日一日が子どもたちにとって、夏休みのいい思い出になってくれれば、お手伝いに加わった私たち委員もとてもうれしく思います。

【青少年部 石田 博之】



この広報誌は世帯ごとに一部お取りください。全戸配布にご協力ください。

夏休み夜間パトロール

(青少年部) 7月17日(水)・8月6日(水)

長島・桑川地区及び二之江地区管内今年も青少年育成葛西地区委員会では、葛西地区青少年の健全育成と安全・安心な地域環境づくりのため、夏休み期間中の7月17日と8月6日の両日にわたり、合計41名が参加して、午後8時より1時間30分夜間パトロールを実施しました。

青色回転灯装備車を先頭に、長島・桑川地区と二之江地区に分かれて、各2台の車両に分乗し、地区内の公園では声掛けを行い、走行中は車に積載しているスピーカーにより安全・安心の周知のアナウンスを行いました。

幸いに両日とも、何事もなく無事にパトロールを終えることができました。

今後も、地域全体で安全・安心なまちづくりを進めていくとともに、地域の一員として青少年の健全育成のための活動について、広く推進していきたいと思います。

【青少年委員 山本 貞二】

長島・桑川地区、二之江地区区民運動会



長島・桑川地区区民運動会

長島・桑川地区区民運動会では、前日まで台風が予想されていましたが、雨は降らず気持ちの良い空の下で熱戦が繰り広げられました。今年も270名と多くの参加者があり、気持ちの良い汗を流しました。運営にあたる従事者も元気づけに走り回る子ども達の姿に、自然と笑顔がこぼれました。

リレーや綱引き等、学校の運動会でも行う競技だけでなく、パン食い競争ならぬ「煎餅食い競争」や男女が協力してゴールを目指す「私の選んだ人」など長島・桑川地区区民運動会ならではの競技があるので、来年度も多くの参加、お待ちしております。

その翌々週には、二之江地区区民運動会が予定されていますが、台風の影響で残念ながら中止になってしまいました。来年は運動会が無事開催されることを願っています。

葛西地区委員会も運営に協力し、世代や性別を越えたふれあい、地域のつながりを深める素晴らしい行事となりましたことを、ここに報告いたします。

運動会

9月8日(日)
第二葛西小学校



葛西まつり 10月20日(日) 葛西区民館周辺



10月20日(日)葛西区民館周辺にて葛西地区委員会として葛西まつりにバザーを出店いたしました。葛西地区の町会・自治会はじめ、諸団体の皆様にご協力いただいた品はすべて売り切ることができました。この貴重な売上金は、青少年育成等の活動資金として大切に活用させていただきます。

この広報誌「ふれあい」を通してご協力いただいた方々に御礼申し上げます。

10月第3日曜日が「葛西まつりの日」として登録されてから幾年かが経ちましたが、今回もたくさんの方々に楽しんでいただけたようようです。

今後葛西地区委員会は、葛西まつりを多方面から支えてまいります。

【副委員長 関口 良次】

ふれあい 第53号《2月発行》

発行：青少年育成葛西地区委員会
編集：広報部
事務局：〒134-0083 中葛西3-10-1
江戸川区葛西事務所地域サービス係
TEL 3688-0434 FAX 3688-8441



【広報部 部長 山本 又三】

編集後記

令和元年の夏に発行した「ふれあい52号」から半年間、地域の皆様の参加と協力にたくさんさんのイベントや研修会等を重ねてまいりました。

先の「ふれあい」編集会議にて「冬号」「夏号」の表記を変えて、発行の月を大きく表示することにいたしました。

今後とも皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

夏期講演会

「夏休み直前！救命講習会」

（研修部）7月6日（土） 葛西区民館

青少年育成葛西区委員会研修部では、毎年夏と秋に2回テーマを設けて研修を開いております。

令和元年7月6日葛西区民館において、成田航空少年団・沖野勇先生を招き、夏休みに向けた救命講習会を開催いたしました。

最近、街中のコンビニエンスストアや学校、ショッピングモールなど人の集まるところでAED（自動体外式除細動器）を当たり前のように見かけるようになりまし。機器の設置は進んでいますが、いざという時に使い方を知っている方はどれくらいいるのでしょうか。

私自身恥ずかしながら本講習を受けるまでは学ぶ機会もなかったため、AEDの使い方を知らずでした。

講習内では本物と同等の講習用AED装置をご用意いただき、大人から子どもまでご参加いただいた何名かの方に実際に使用しながら使い方を学んでいただきました。

座学の講習会とは異なり、実際にやってみることに重きを置いた内容になっており、長時間にもかかわらず子どもたちも興味深く一生懸命聞いていたことが印象に残りました。

また講習会ではAEDの使い方のみならず、夏休みに増える野外活動における注意点や出血を伴うケガの応急処置などについても講義いただきました。

応急処置の実例として、先生が用意した、血に見立てたトマトジュースを腕に垂らして、古いTシャツを包帯として使用するなど目から鱗のすぐにも活用できる方法でした。（実は本稿を書かせていただいた私がケガをし、出血した人の役をした本人でして、講習中に子どもたちにも「大丈夫？」「痛くない？」など声をかけられたりとリアリティはかなりあった模様でした）

実際にご参加いただいた方々のアンケートのうち、89%の方々に「参加してよかった」と回答いただきました。講習に親子で参加することにより、親御さんは自身の知識を深めつつ、家に帰って子どもと講習について話すきっかけとなりましたら研修部としても嬉しく存じます。

各消防署でもAEDの講習を受講できますので、使い方が分からない親御さんは自身の子どものいざという時に守れるように受講なさることをご検討してはいかがでしょうか。

【研修部 半村 祐樹】



第37回 ふれあい卓球大会

（スポーツ・レク部 8月25日） 二之江コミュニティ会館

二之江コミュニティ会館でふれあい卓球大会が7チーム52名による熱い戦いが、繰り広げられました。

今年は学生の参加者が4名も増え、躍動感あふれるプレー姿を随所に見せていました。

また、他の町会も巻き返しを図る意気込みでしたが、得失点差の末、優勝が決まり、自治会コミュニティ5が四連覇を達成しました。

各町会と役員の協力のもと、無事試合を消化することができました。来年もまた、各町会一同盛り上げて下さればと思います。

結果は、左記のとおりです。

優勝 自治会コミュニティ5
準優勝 長島町会A
第3位 二之江中央・八幡合同

「スポーツ・レク部 副部長 嶋田 孝志」

第39回 ふれあい女子バレーボール大会

（スポーツ・レク部 8月25日） 二之江小学校・二之江第三小学校

令和になって初めての「ふれあい女子バレーボール大会」。

残暑の厳しい日でしたが、今年もまた、白熱した試合が展開されました。

ベテラン勢に若い世代が加わって技と力が備わった各チーム。

ボールを打ち合う激しい音の渦の中、ボールが空中にある間の一瞬の静寂すら記憶に残る、印象深い素晴らしい試合を見させていただきました。

結果は、左記のとおりです。

優勝 長島町会B
準優勝 長島町会A
第3位 桑川町親和会

「スポーツ・レク部 副部長 立花 誠」

秋期講演会

「あなたのお子様大丈夫ですか？ ネットとの正しい付き合い方」

（研修部）11月10日（日） 葛西区民館

インターネット環境の急速な変化や、スマートフォンなどの普及により、「自撮り被害」などのトラブルに巻き込まれ、被害者となるケースが増加しています。子どもたちがこうした被害に遭わないように、大人が子どもたちを見守ることはもちろん、子どもたち自身が当事者意識を持ち、身を守る力を付けるために、講演会を開催し100名近くの親子に参加いただきました。講師はファミリー・ル・寺田幸人様をお願いしました。

危険1 子どもの健全育成に有害な情報が氾濫している。
 インターネット上には、子どもに見せることが好ましくない情報、例えば、犯罪や自殺を誘うような内容、過激な描写、殺人などの残酷なシーンを含む画像や動画が氾濫しています。

危険2 相手の顔が見えない。
 インターネットでは、様々な人とつながることができ、相手の本物の姿は分かりません。中には、性別や顔、名前や年齢を偽って、言葉巧みに子どもに近づく悪い人がいます。

危険3 発信した情報は不特定多数の人に広がり、後から削除することはほとんど不可能。
 インターネット上では、一度掲示板などに書き込みを行うと、その内容はすぐに広まります。気軽に書き込んだ情報や画像であつても、不特定多数の人に広がってしまう。

危険4 インターネットでの情報発信は個人を特定できる可能性がある。
 インターネット上での情報発信は、匿名のつもりでも、ふとした書き込みなどから個人を特定することが比較的容易にできることがあります。自撮り画像に位置情報が入っており、意図せず個人が特定され、トラブルや事件に巻き込まれる可能性もあります。これらの危険にどう対処するか、事故を防ぐか、という内容でした。

アンケート 「子どもがインターネットを安全、適切に利用するには被害の実態やその防止策の情報、スマホの適正な利用について、大人たちも知識を身に付ける事が必要と感じました」との声をいただきました。

【研修部 部長 榎本 重二】

まちなか探検クイズ! ポイントラリー&ドッチビー

（青少年部 12月1日） 長島・桑川地区、新川・治川

12月1日、当日は寒い中まずまずの天候の下始まりました。参加者は、事前には23名の申し込みがありましたが、10名ほど見え、少々遅れての開会となりました。

当日参加された子どもたちを3班に分け、昨年同様決められたコースを歩きながらクイズに解答していくポイントラリーと、出発を待つ間にドッチビーの的当てを行い、合計得点に応じて賞品を獲得するという内容です。

私は誘導ポイントを担当したので、最初の班に付いて長島・桑川地区のクイズを巡りながら誘導ポイントに移動し、子どもたちの見守りにあたりました。子どもたちの性格によっては、あまり地図を見ないで行く子、確かめながら行く子と様々ですが、皆元気によく行動していました。最後の班とともに新川・治川を巡り、長島・桑川コミュニティ会館に戻ってきました。予定されていた時間いっぱいまで子どもたちはドッチビーを楽しみ、解散となりました。

自分たちの町に興味をもつて探検したいという子どもたちを募集いたしますので、来年度も多くの方のご参加をお待ちしています。

【副委員長 竹田 幸彦】